

シマルーベはSimatec AGにより製造されたものです。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ■ 仕様

名 称	シマルーベ30	シマルーベ60	シマルーベ125	シマルーベ250
稼 動 方 式	H2ガス圧力(乾電池式)			
作 動 圧 力	最大5 bar			
内 容 量	30mℓ	60mℓ	125mℓ	250mℓ
吐 出 期 間 調整・設定範囲	1、2、3～12ヶ月(0で一時的停止可)			
使用温度範囲	-20～+55℃			
取 付 方 向	どんな方向にも取付可能			
防塵・防水規格	IP68 (水面下での使用可能)			
保 証 期 間	製造日より2年以内に使用開始下さい。 製造年月に関しては本体に印字されています。 例えば印字が05/2020なら 2020年5週(2月初旬)製造という意味です。			
保 管 温 度	20℃±5℃(直射日光を避け、暗所に保管下さい)			
重 量 (潤滑油を含む)	82g	115g	190g	335g
重量(空き容器)	55g	60g	75g	111g
寸 法				

### ■ 取り付け方法

給油器の正常な作動は推奨グリスおよび純正オプションパーツを使用した場合、取扱説明書による取り付けおよび取り扱い、メンテナンス方法に従った場合に保証されます。これを無視されたことに起因する損害に対して製造者・販売者はいかなる責任も負いかねます。



- グリス仕様の場合は、黒色のキャップを取り外します。オイル仕様の場合は黄色いキャップの先端突起部のみをカッターのようなものでカットします。黄色いキャップ自体は外さないで下さい。
- 3mmの六角レンチを使用してダイヤルの1～12ヶ月のうち希望の設定期間をセットします。(潤滑油はすぐには出てきません。数時間から数日かかることがあります。1に設定すると早く出てきます。)
- 潤滑油の吐出を確認した後、潤滑箇所手にねじ込みます。取付後定期的に作動状態(ピストンの位置)を確認ください。
- 油性ペンを使用して使用開始日をラベルに記入します。
- 吐出期間が終了したら新しいシマルーベに交換します。

<オイル仕様>



◎ 使用中にガスジェネレーターの設定値を変える事により、吐出期間/吐出量を変更することが可能です。又、設定を0にすれば長期に機械を止める際などに給油を一時停止することができます。1～12に再セットすれば給油再開します。

### ■ 注意事項

- グリス仕様にてシマルーベを初めて取付ける場合は潤滑箇所事前にグリスガンで給脂し、グリスラインにつまりが無いようにして下さい。グリスラインにつまりがあると背圧が高まり、シマルーベよりグリスが出ない原因となります。シマルーベは安全のために内圧が6 kg/cm<sup>2</sup>に達すると容器の底との結合部、あるいはガスジェネレーターの上部が破壊され、圧力を逃がす様に設計されています。
- グリス仕様にて配管やホースを使用して取付ける場合、内径6mm以上のものをご使用ください。また長さは50cmを超えない様にしてください。50cmをこえる場合には配管抵抗でグリスが出ないことがあります。オイル仕様の場合は長さの制限はありません。
- シマルーベはワンポイント給油器です。1つのシマルーベを分岐して複数の給油ポイントへ使用することは出来ません。

### ■ 警告

設置、使用中は本器表面が静電気帯電する様な抜き取り、エア掛け等はしない様にしてください。清掃する場合は非危険場所に移し、静電気が帯電しない方法で行ってください。

### ■ シマルーベ取得認証一覧

日本国内防燥認証  
型式 シマルーベ30,シマルーベ60,シマルーベ125,シマルーベ250  
周囲温度 -20℃～+55℃  
電源 電池ユニット(ST5010) DC6.0V ... シマルーベ 250  
電池ユニット(ST5008) DC2.4V ... シマルーベ 125  
電池ユニット(ST5006,ST5004) DC1.2V ... シマルーベ 60 シマルーベ 30  
防燥記号 Ex ia II CT6 X



CEマーキング



ドイツ認証機関



NK(日本海事協会)承認

合格番号: 13T609

### ■ トラブル対策:問題に気づいたら

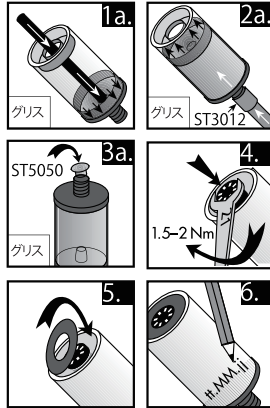
現 象	原 因	対 策
潤滑油が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>黄色いオイルキャップの先端が切れていない、あるいは黒色のグリスキャップが外れていない。</li> <li>ガスジェネレーターが0になっている。</li> <li>グリスラインがつまっている。</li> <li>ホースや配管取付時の背圧抵抗が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黄色いオイルキャップの先端をカットする、あるいは黒色のグリスキャップを取り外す。</li> <li>ガスジェネレーターを1～12にセットする。</li> <li>グリスガンにてグリスラインをきれいにする。</li> <li>ホースの適切な長さ(50cm以内)、内径(6mm以上)を確保する。</li> </ul>
吐出量が不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスジェネレーターの設定値が大きすぎる。</li> <li>グリスラインに異物がある、または狭い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値を小さくする。例えば12→6へ変更。</li> <li>グリスガンにてグリスラインをきれいにする。</li> </ul>
吐出量が過多	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスジェネレーターの設定値が小さすぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値を大きくする。例えば6→12へ変更。</li> </ul>

総輸入元

## ■ グリスの充填方法

空容器にグリスガンでグリスを充填するには、再充填ニップル(別売:型式ST3012)が必要です。

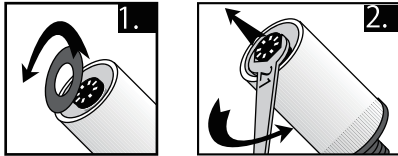
- 1) ピストンを棒などで完全に吐出口側へ押し下げ、(1a.) 再充填ニップル(ST3012)をシマルーベのネジ部へねじ込み、グリスガンで容器内のピストンを最上部に押し上げるまでグリスを充填します。(2a.) 保管する場合は黒色のキャップ(ST5050)をご使用ください。(3a.) グリスを充填しすぎると本体底部が壊れるので気をつけてください。
- 2) ガスジェネレーターのオーリングが正しい位置にあることを確認して、ガスジェネレーターをねじ込み、1.5~2Nmのトルクで締め付けます。(4.)
- 3) ワッシャーをはめて(5.)充填したグリスタイプをラベルに油性ペンで記入します。(6.)



## ■ 再充填の場合

シマルーベの容器は再充填する事により、2, 3回の再利用ができます。

- 1) ワッシャーを取り外し、(粘着テープで簡単に外れます。)
  - 2) 21mmのソケットを使用してねじ込まれているガスジェネレーターを取り外します。
- 使用済みのガスジェネレーターは電池として処分します。



その後ガスジェネレーターを新品(別売:交換用ガスジェネレーター)と交換し、前項のグリスの充填方法の1)~3)もしくはオイルの充填方法の1)~5)の作業を行ってください。

- 注: 使用済みのガスジェネレーターを取り外すとH<sub>2</sub>ガスが少量出てきます。ガスジェネレーターの取り外しは引火に十分注意し火気の付近でおこなわないでください。危険場所では絶対に取り外さないください。

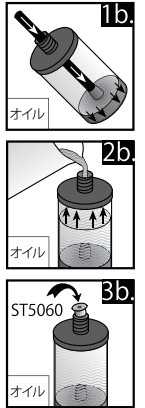
## ■ オプションパーツ

	45° エルボー A: R 1/4" 型式:ST1001		ホースΦ8/6 A:1Mあたり 型式:ST2000 (クイックカップリングと一緒に使用下さい)
	90° エルボー A: R 1/4" 型式:ST1002		クランプ A:50mm 型式:ST2010
	アダプター-R 1/4" × A: G 3/8" 型式:ST1010 A: G 1/2" 型式:ST1011		丸型ブラシ(ST2034)取付用 クランプ A:28mm 型式:ST2013
	アダプター-R 1/4" × A: G 1/8" 型式:ST1020 A: UNF 1/4"-28 型式:ST1121 A: M6 型式:ST1022		取付サポート A: R 1/4" 型式:ST2080
	延長アダプター A: 35mm 型式:ST1040 A: 50mm 型式:ST1041		保護カバー 型式:ST2081 (ST2080と一緒に使用下さい)
	クイックカップリング (シマルーベ側) Φ8mm A: G 1/4" 型式:ST1060 (ST2000と一緒に使用下さい)		取付ブラケット 1個用 75mm 型式:ST2082 3個用 240mm 型式:ST2083 5個用 350mm 型式:ST2084 (ST2080と一緒に使用下さい)
	クイックカップリング (給油側) Φ8mm A: G 1/8" 型式:ST1070 A: G 1/4" 型式:ST1071 A: G 3/8" 型式:ST1072 (ST2000と一緒に使用下さい)		

## ■ オイルの充填方法

空容器にオイルを充填して使用する場合には、オイルの吐出量を調整するオイル用逆止弁キャップ(別売:型式ST5060)が必要です。

- 1) 容器内の吐出口側にあるピストンを棒などで最上部(ガスジェネレーター側)まで押し上げます。(1b.) (グリス充填時とは、充填開始時のピストンポジションが逆になります。)
- 2) 吐出口を上向きにして、オイルを注ぎ込みます。(2b.)
- 3) 逆止弁キャップ(ST5060)を吐出口にはめます。(3b.)
- 4) ガスジェネレーターのオーリングが正しい位置にあることを確認して、ガスジェネレーターをねじ込み、1.5~2Nmの締め付けトルクで締め付けます。
- 5) ワッシャーをはめて、充填したオイルタイプをラベルに油性ペンで記入します。



## ■ シマルーベ製品一覧

	グリスの使用温度範囲	基油	せっけん基	動粘度(40℃)	NLGI No.
空容器 型式:SL00 (ガスジェネレーター含)	ユーザー様のお好きなグリス、オイルを充填する事が可能です ※ NIGL No.3のグリスは充填出来ませんのでご注意ください				
汎用グリス 型式:SL01	-30 ~ +120℃	鉱物油	Li/Ca	118 mm <sup>2</sup> /s	No.2
モリブデン入りグリス 型式:SL02	-25 ~ +130℃	鉱物油	Li	370 mm <sup>2</sup> /s	No.2
高温グリス 型式:SL04	-20 ~ +160℃	鉱物油	Be	540 mm <sup>2</sup> /s	No.2
液体グリス 型式:SL06	-30 ~ +100℃	鉱物油	Li/Ca	75 mm <sup>2</sup> /s	No.0
食品用グリス 型式:SL10	-40 ~ +130℃	合成油	Al	350 mm <sup>2</sup> /s	No.2
チェーン用オイル 型式:SL14	-10 ~ +90℃	鉱物油		68 mm <sup>2</sup> /s	

Li/Ca:リチウム/カルシウム Li:リチウム Be:ベントナイト Al:アルミニウム化合物

- ※ 各型式とも30ml, 60ml, 125ml, 250mlの4種類のサイズを用意していますので、ご注文の際はグリスの種類とサイズを指定して下さい。
- ※ グリスごとに成分表(SDS)を用意しておりますので、必要な場合は別途お問い合わせ下さい。
- ※ 上記表の温度範囲はあくまでもグリスの使用温度範囲であり、シマルーベ本体の使用温度は-20℃~+55℃です。
- ※ 潤滑剤が目や口に入った場合、皮膚に触れた場合は速やかに水で洗い流し専門医の相談を受けて下さい。

	逆止弁キャップ オイルを充填して使用する 場合に必要 型式:ST5060		再充填ニップル A: G 1/4" 型式:ST3012
	チェーン用丸型ブラシ (オイル仕様専用) Φ25×45mm 型式:ST2034		交換用ガスジェネレーター (電池ユニット) 30ml 型式:ST5004 60ml 型式:ST5006 125ml 型式:ST5008 250ml 型式:ST5010
	チェーン用角型ブラシ (オイル仕様専用) A: 40mm 型式:ST2035 A: 70mm 型式:ST2036 A: 100mm 型式:ST2037 A: 25mm 型式:ST2038		インパルス シマルーベの吐出圧を 2倍に昇圧するブースター 型式:ST230.1000
	横型取付用角型ブラシ (オイル仕様専用) A: 40mm 型式:ST2035-S A: 70mm 型式:ST2036-S A: 100mm 型式:ST2037-S		インパルス専用 交換バッテリー 型式:ST230.5000

総輸入元